

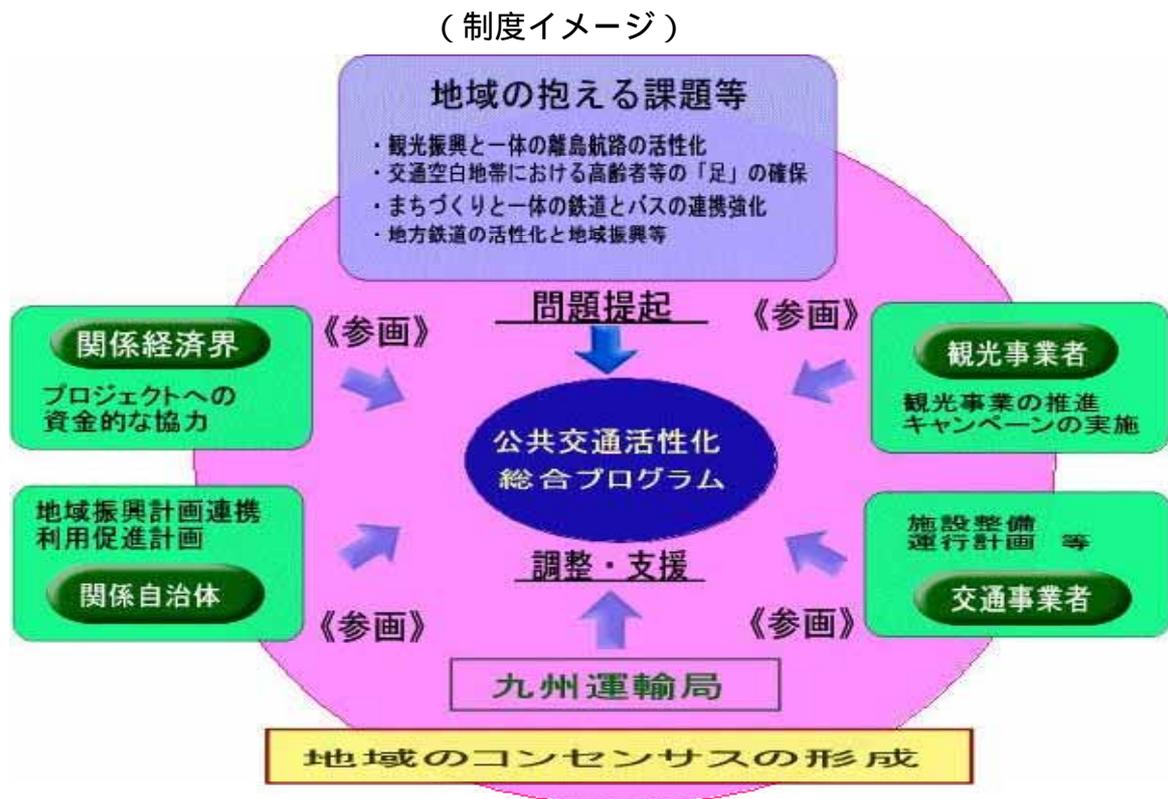
平成21年5月27日

平成21年度公共交通活性化総合プログラムについて

～ 今年度は4件実施します ～

「公共交通活性化総合プログラム」は、平成14年度から導入された制度であり、今年度で8年目を迎えます。

九州運輸局では、公共交通の活用及びその維持・活性化並びに改善を図るために、これまでも多くの案件を手がけてまいりましたが、今年度も引き続き、交通事業者、観光事業者、関係自治体、関係経済界等とともに、別紙のとおり取り組んでまいります。



< 問い合わせ先 >

九州運輸局企画観光部交通企画課

担当 城、江藤

電話 092-472-2315

平成21年度公共交通活性化プログラム

【件名】

交通事業者等の共同による公共交通の活性化

【場所】福岡市

【内容】

複数モードの公共交通を一体的に利用する施策や公共交通利用のPR策、公共交通情報の提供などモビリティ・マネジメントの推進、乗り継ぎ利便策の向上策について検討を行うもの。

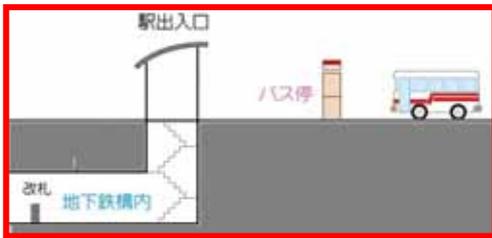
【件名】

九州地域における国際相互利用可能な低コストIC乗車券システムの導入による地域活性化に向けた調査研究プロジェクト

【場所】福岡都市圏域

【内容】

安価なコストでのIC乗車券システム導入可能性等についての調査を行い、中小公共交通事業者においてIC乗車券システムの導入と情報化を促進し、公共交通の活性化を図ることを目的とするもの。



【件名】

JR三角線を軸とした宇城・天草地域の総合公共交通網の整備

【場所】

熊本市、宇木市、上天草市、天草市、苓北町他

【内容】

九州新幹線鹿児島ルートの特急列車の全線開業を控えた今、新幹線を利用して訪れた観光客がスムーズに三角・天草地域の観光地へ公共交通機関で移動できるよう環境の構築を目指し、当地の公共交通が抱える課題・役割・実現可能性について整理検討を行うもの。



【件名】

豊後大野市の地域にやさしい公共交通夢創造活性化プログラム

【場所】豊後大野市

【内容】

コミュニティバス等の運行形態等について、鉄道や路線バスとの連携を考慮しつつ抜本的に見直すことにより適正化し、将来にわたって必要とされ、継続的に利用される交通体系の構築を図るもの。

